

産業の活力を
実感できるまちづくり

◆農林水産業の振興

食の安全と地産地消を旨としつつ、基盤整備の積極的な推進に努めるとともに、品目横断的経営安定対策、米政策改革および農地・水・環境保全向上対策を着実に推し進め、地域の特性を活かした高い生産性と収益性を有する農業の確立、「地域自給率70%」の更なる向上をめざします。

また、引き続き河原津漁港の整備を推進するとともに、種苗放流による水産資源の育成に努めます。



地域の特性を活かした高い生産性と収益性を有する農業の確立、「地域自給率70%」の更なる向上をめざします。(写真は丹原町徳能から望む道前平野)

◆商工業の振興

現在、本市中心市街地の振興方策の基本となる計画の策定に取り組んでおりますが、早急に国の認定を受け、当該基本計画に基づいた市街地の整備を重点的に推進するとともに、商業活性化や賑わいの創出に向け、精力的に取り組めます。

◆高付加価値型食料産業の実現

「食創館（食の創造館）」を拠点に「水と食」をテーマとした、新たな名水産品の開発研究や食材の実態調査、試食会の開催等に継続して取り組みます。

また、ふるさと産品のPR事業や、タイへの地場産品輸出販路開拓事業等、農・商・工が連携した各種事業を実施し、高付加価値型食料産業の実現、食品加工流通コンビナート構想の推進をめざした取り組みを推進します。

更に、団塊世代の大量退職時代を迎える中、「Oターン（二地域居住）」推進事業に取り組み、都市部の人材の誘致を図ります。

◆観光の振興

「鉄道歴史パークinSAIJ O」が開館後3カ月で約4万人の来場者を数え、順調なスタートを切ることができました。今後ともJR四国等との連携を図りつつ、イベント等を実施することにより、



オープン3カ月で約4万人が来場した「鉄道歴史パークinSAIJ O」。今後も、さらなる集客増加・観光情報発信に取り組めます。

更なる集客の増加を図るとともに、観光情報の発信にも精力的に取り組めます。

大学と連携した地域づくり

西条市というフィールドの中で地域課題を解決し、あるいは地域の活性化に必要とされる人材の育成等を図るため、東海大学や京都大学大学院地球環境学堂、東京農業大学等の研究者や学生を招き、様々な分野での教育・研究交流を展開する「フィールド大学」事業のほか、システム農学会の誘致等、



地域活性化・人材育成を図るため、大学と連携した地域づくり事業の推進に取り組めます。(写真は食品加工流通コンビナート構想実現に向け、産学官連携で取り組んでいる総合食料産業技術懇談会)

大学と連携した地域づくり事業の推進に継続して取り組みます。

以上、平成20年度の市政運営につきまして、私の所信の一端を申し述べましたが、今後におきましても、スリムで質の高い行政運営システムの構築に意を用いつつ、新生「西条市」の持てる総合力を生かし、市政の均衡ある発展に向け誠心誠意取り組んでまいり所存でありますので、議会の皆様方をはじめ、市民の皆様方の温かいご理解と一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。